

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	富士通インターコネクトテクノロジーズ株式会社							
代表者名	氏名	板東 陽一			役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字北尾張部36番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2841 電子回路基板製造業						
主たる事業の概要	プリント基板加工							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2,135	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	6	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

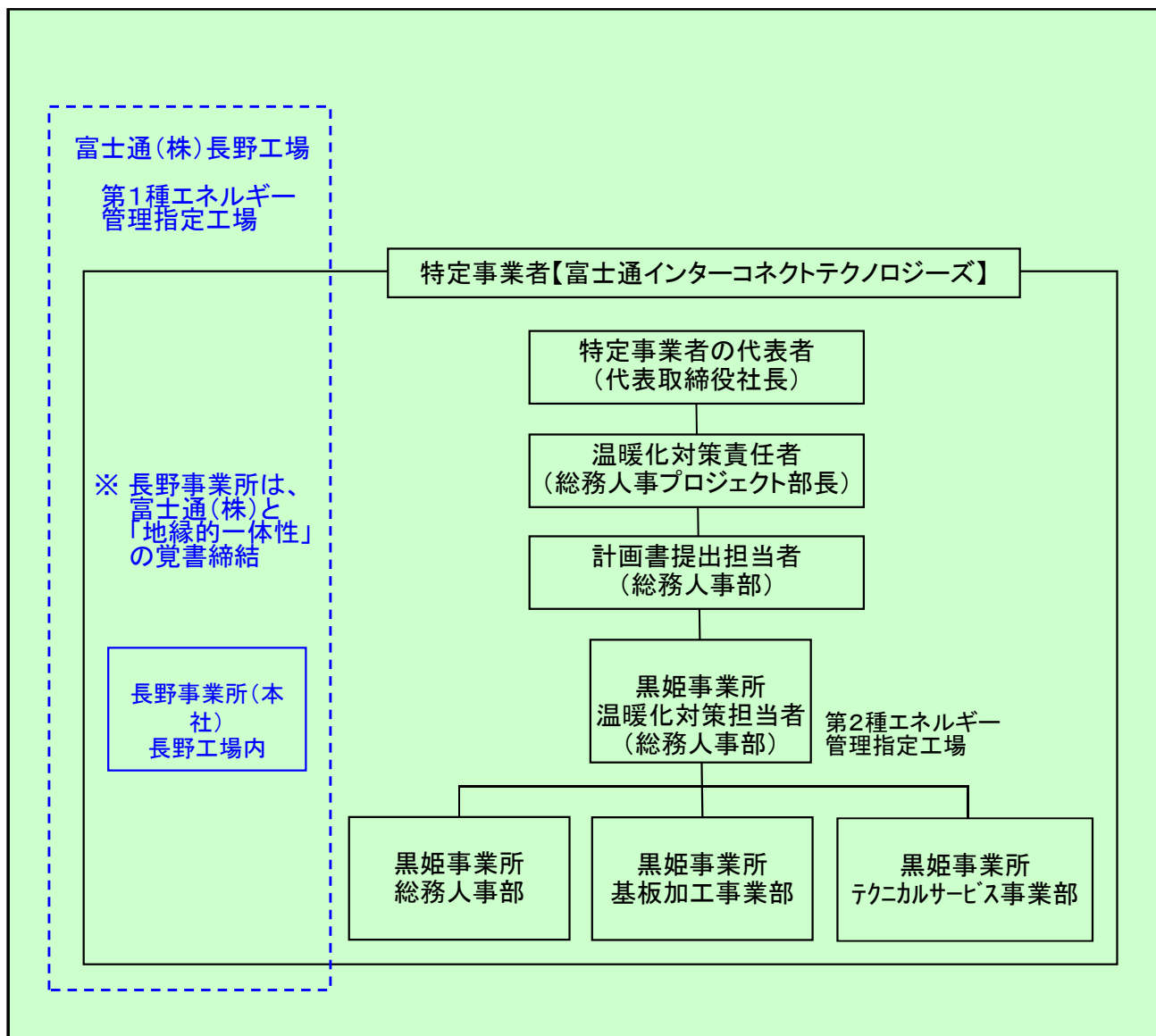
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	印刷物（紙媒体）にて計画書・報告書の公開 ■ 対応窓口：黒姫事業所総務人事部 ■ 閲覧時間：10:00～15:00 ■ 閲覧場所：黒姫事業所商談ルーム
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムを通して、法規制の遵守・環境対応商品の開発/促販・省エネルギー廃棄物削減・重点化学物質の排出削減・社会貢献等に取り組み、生物多様性の保全に努める。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,364	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,841	単位	百万円	
25年度	調整後排出量	3,262	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2.37	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	
目標年度	目標排出量	4,233	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	2.30	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	2.97	%		
目標設定に関する説明	CO <sub>2</sub> 排出量は、生産要因にて振られる要素が大きいが、省エネ施策の確実なる実施と、省エネ推進により対前年度比1%の削減を目標とした。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,637	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,834.4	単位	百万円	
	調整後排出量	4,604	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.53	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	(6.26)	%	削減率	(6.76)	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量の増加については、基板部門の生産品種の高度化(微細加工)に伴い装置稼働時間が増加したこと及びテクニカルサービス部門の試験事業増設による。</li> <li>・原単位の未達については、製品価格の低下、付加価値生産額減少及び上記の排出量増加による。</li> </ul>							
第二年度	排出量	4,483	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,727.50	単位	百万円	
	調整後排出量	4,459	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.60	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	(2.73)	%	削減率	(9.71)	%		
排出量等の増減理由	<p>基準年度の平成25年度は、生産量の減少(受注減)により過去最低のエネルギー使用量及び売り上げの年であったことを踏まえ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出については、会社存続のためには受注を増やし、生産稼働率を上げているため未達成となった。基準年度を下回るのは難し状況ではあったが、諸施策の効果により前年比では減少となっている。</li> <li>・原単位の未達については、製品価格の低下、付加価値生産額減少及び上記の排出量増加による。</li> </ul>							
第三年度	排出量	4,508	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,688.20	単位	百万円	
	調整後排出量	4,476	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.67	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	(3.30)	%	削減率	(12.66)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量の増加については、基板部門の生産品種の高度化(微細加工)に伴い装置稼働時間が増加したこと及び生産設備の増設による。</li> <li>・原単位の未達については、製品価格の低下、付加価値生産額減少及び上記の排出量増加による。</li> </ul>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の前単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299 空気調和設備、換気設備に係る その他の削減対策(空調機更新)	H27年度	36	H27年度	42
2	エネ起	330206 ブラインド、カーテン等の管理 (間仕切り設置による空調効率改善)	H27年度	16		
3	エネ起	380752 高輝度放電ランプ等効率の高い ランプの導入(照明器具更新)	H27年度	5	H27年度	4
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1102		33	24	32
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況

(所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,364	1	4,637	1	4,483	1	4,508
1,500k1未満								
合計	1	4,364	1	4,637	1	4,483	1	4,508

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況

(t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	
CH <sub>4</sub>	0	0	0	
N <sub>2</sub> O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF <sub>6</sub>	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	6	6	6	6
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実施なし
その他	実施なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	立地的にマイカー通勤は不可欠のため、特に対応なし
公共交通機関の利用促進	同上
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	特に計画なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO 14001	1995年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>2. 地域社会貢献活動（長野県ゴミゼロ運動、地域ゴミ拾い等）</li> <li>3. 生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>2. 地域社会貢献活動（長野県ゴミゼロ運動、地域ゴミ拾い等）</li> <li>3. 生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>・生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> <li>・クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>・生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> <li>・クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	・協力会社への環境業態監査実施	
その他	<p>基準年度以前、平成24年、23年に下記施策を実施 18項 自由記載欄一設備更新を伴う温室効果ガス排出量削減対策</p> <p>平成24年実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプレッサー排気ダクト設置 1.2KL</li> <li>・トランス更新(200KVA 1台) 0.4KL</li> <li>・空調機更新(本館1階) 8.0KL</li> </ul> <p>平成23年実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランス更新(300KVA 1台) 0.8KL</li> <li>・空調機制御改造(西4番館) 10KL</li> <li>・天吊りエアコン更新(東5番館、東1番館、本館 計4台) 2.7KL</li> <li>・コンプレッサー排気ダクト設置(1台) 3.2KL</li> <li>・本館3階サーバー室排熱利用 16.7KL</li> <li>・高効率照明ランプ(LED)への更新 1.5KL</li> </ul>	117 t-CO <sub>2</sub>